(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　4年　1月　19日　　企業・団体名：株式会社　岡村文具

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で経営トップが関与し、差別のない体制を構築している。 ・就業規則、禁止行為内に「全ての職員は対等なパートナーである」と明記している。 ・相談しやすい環境を構築している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・就業規則内にハラスメントを禁止する旨を明記している。 ・ハラスメント研修を実施している。 ・相談しやすい環境を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・テレワーク、直行、直帰を導入しており、コロナ禍での感染症対策としても機能している。 ・育児短時間勤務制度を設けている。 ・育児休暇、育児休業取得促進宣言を行っている。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人研修生の受け入れを行っている。 【予定】外国人労働者の雇用・求人の応募実績はないが、雇用及び適切な環境で働ける体制を整えていく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・業務中は社用車での移動中の事故や納品、修理作業時に事故発生する事が想定される為、下記の事故防止の周知を徹底している。 ・安全運転管理者を中心に事故を起こさない様に周知徹底を行っている。 ・納品時は周囲や手元足元に注意する様、修理時は道具の使い方等、気をつけて作業を行うように周知徹底を行っている。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・年に一度ストレスチェックを実施している。 ・休職制度を利用できる様にしている。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・ダイバーシティ推進の為の働き方改革や教育体制を整備している。 ・社内オフィスでフリーアドレスを採用し、お客様へもフリーアドレスをご提案させて頂き、誰もが利用しやすいサービスの提供に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・社員のスキルアップの為、外部セミナーに参加できる体制を構築している。 ・人材育成の為、コンサルティング会社から各社員個別に指導して頂いている。 ・会社が指定した資格を受験する際は、受験費用の負担や支援を実施している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って、正社員、パート社員に関わらず、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・健康経営優良法人ブライト500を取得している。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・VPN構築等、テレワークできる環境を構築している。 ・web会議を積極的に活用している。 ・執務フロア、会議室にアクリルパーテーションの設置、対面での会議時には適切に換気を行い、マスク着用を徹底している。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・DX認定支援事業者の認定を受けている。 ・勤怠管理、名刺管理、スケジュール管理等をデジタル化している。 ・社内のデジタル化だけでなく、働き方改革に活用できるデジタルサービスをお客様に提供し、お客様のデジタル化をサポートさせて頂いている。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・事業活動で発生した廃棄物は、分別ルールに基づき分別、管理を行い、廃棄物処理業者により適切に処理している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・エネルギー使用量を把握しており、エネルギー使用削減に努めている。 ・エコカーやLEDを導入している。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・環境に配慮した商品を積極的に導入している。 ・クールビズ・ウォームビズの実施。 ・一部、社用車にハイブリット車を採用している。 ・【予定】温室効果ガスの排出量を把握する。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令で規制されている有害化学物質を把握し、有害化学物質を排出しないように徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・事業活動において、環境に悪影響を及ぼさないよう社内で徹底している。 ・環境に配慮した製品を積極的に導入、販売している。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・ペーパーレス化、裏紙を再利用するよう促している。 ・紙を再利用できる機器の販売を行っている。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・OA機器の省電力モードを積極的に利用している。 ・社用車にハイブリット車を導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・ホームページ内にて取り組み内容を開示し、随時更新している。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●								7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・高級食パン事業を運営しており、食品事業者として食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職、贈収賄を禁止し、社員に周知を徹底している。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・公正な企業活動に努め、不正行為を行わない様、社員に周知徹底を行っている。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・知的財産を侵害しないように侵害防止を徹底している。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報の取り扱いに関して社内規定に明記している。 ・個人情報保護士の資格を持った社員を中心に、適切に管理を行っている。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・自社で使用または、ご提供する製品やサービスが安全かどうか確認し、採用またはご提供するように努めている。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・製品・サービス商品の勉強会を積極的に行い、お客様が安心満足してお使い頂ける製品を販売できる仕組み作りに努めている。 ・取引先からクレーム等が発生した場合、社内共有、フィードバックできる環境を構築している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・環境に配慮した製品かどうか確認し購入を行っている。 ・環境に配慮した製品をお客様にご提供するように努めている。						6						12	13	14	15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・防犯監視カメラ、セキュリティ対策、防災グッズの販売等、経営課題のみならず、社会課題解決する為の製品、サービスの販売を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・帯屋町二丁目商店街振興組合等、周辺地域の組合に加入しており、組合等を通じて地域交流を行い、事業の地域への影響を把握し、改善に努めている。 ・まいぶれ高知を運営し、帯屋町商店街の活性化に寄与している。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・植栽や清掃活動等、積極的にボランティア活動、社会貢献活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●									8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・経営トップよりコンプライアンスの重要性を社員に向けて発信している。 ・適時、コンプライアンスの重要性について社員の理解度を確認している。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念、経営方針を明確化し、経営トップから会社の進むべき方向性を社員に説明し共有を行っている。 ・定期的に社訓の唱和を行い、経営理念を全社員と共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・各担当者を任命し、体制を整えている。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・弊社の企業活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し適切に対応している。 ・利害関係者とのコミュニケーションを密にし、利害関係者の要望を大切にしている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●																	16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●																	16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●										9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の人材育成に取り組んでいる。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・事業所内に緊急時の食料などを備蓄している。 ・地震、津波ハザードマップを活用する様に推進している。 ・高知県防災アプリの活用を推進している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・防災士資格を取得した社員を中心に防災対策を取り組んでいる。 ・本社ビルを避難ビル指定している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・【予定】SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行えるよう環境を整えていく（2022年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用に向け、学生のインターシップの受け入れを行っている。				4.4				8.5 8.6									17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						